

東京青年会議所による各候補者の事前政策ヒアリング

		立候補者	
候補者	氏名	近藤やよい	大島よしえ
	政党	無所属	無所属
	現職業	現職足立区長	無職
基本的な考え方	理念 政治家を志した理由	女性警察官当時、留置所の看守は4日に一度の泊り勤務。子育てや介護中の先輩や同僚が、勤務を続けられず退職する姿を見てきました。その時女性が少しでも生きやすい地域社会を実現したいと思ったのが原点です。区長の3期12年で一定の成果が表れてきているものの、いまだ残る課題の早期解決に向けて立候補を決意しました。	2年前、都議会議員を引退し、一区民として心静かに暮らしたいと考えました。しかし、改憲、年金・医療・介護などの社会保障の連続改悪、10月からの消費税10%増税など、くらしのいたみを感じる毎日です。いまこそ足立区は、国の悪性から区民を守る防波堤となるべきだと考えました。
	地域のありたい姿	次代を担う子供たちが、夢や希望をもって自立した人生を生きぬくことができる地域をと考えています。経済状況など生まれ育った環境に左右されることなく自己実現できる環境の整った地域社会が理想です。今後の高齢社会を支えるのは若者であり、その若者がたくましく育っていくことは、何よりの高齢者施策であるともいえます。	憲法、地方自治法にのっとり、「住民が主人公」の区政をめざし、区民の声が届く区政、開かれた区政、住民参加の区政を貫き、区民の暮らし優先の財政政策に転換します。「子育てするなら足立区で」の合言葉で、全ての子供が健やかに成長し、学力と生きる力を育てる教育、保育など子育て支援を進めます。
	解決したい課題	治安・学力・健康・貧困の連鎖という4つのボトルネック課題への取り組みは成果が出るも、区のマイナスイメージの完全払しょくには至っていません。また四方を川に囲まれ、木密地域も残る当区は地震・水害対策にゴールはありません。23区中高齢化率2位の当区は、老後への漠然とした不安を持った区民も多いと思います。	19年間連続値上げの高すぎる国民健康保険料、23区で一番高い介護保険料を見直し、区民の負担軽減を図ります。特養ホーム、認可保育所、学童保育室を増設するとともに、公立保育園は廃止せず増やします。中小零細企業への支援や住宅リフォーム助成の改善・拡充で仕事確保と地域経済を元気にする政策を系統的に進めます。
	子育て支援について	4	5
	障がい者福祉について	3	3
	高齢者福祉について	4	5
	防災・危機管理・生活安全について	4	4
	政策比較 住宅・住環境について	3	2
	道路・交通について	3	2
	商業・産業振興について	3	5
	観光について	3	2
	コミュニティについて	3	2
		合計	30 合計 30